



## 熊本市議会議員(東区) 26年間、確実な議員活動

# ふじやま英美

ごあいさつ



気候変動の影響か今年の夏は長雨に悩まされ各地で大きな被害が出ました。また、新型コロナウイルス感染拡大が第5波まで拡大し、引き続き心配なデルタ株が若年層を中心に蔓延しています。人と人との交流も進まず経済活動が滞っており、早期のコロナ沈静化を願うばかりです。

このような中、令和3年第3回定例会において一般質問を行いましたので概略をご報告致します。これからも台風等の自然災害が予測されます。

くれぐれもご自愛いただき、災害などに備えていただきますようお願い申しあげます。私は「小さな声を、喜びに！」を掲げ努力を続けてまいります。

終わりに皆様のご健勝、ご多幸をお祈り致します。

## 市役所の組織風土について

以前、職員は議会と協議を重ね積極的に職務に取り組んできたと思いますが、数年前に「議員等からの要望等に係る組織的対応に関する基本方針」が策定されたことが影響しているのか、我々議員と積極的に意見交換を行う管理職が少なくなってきたようです。チャレンジ精神も薄れ、職員が委縮しているように感じます。こうした市役所の組織風土を改革し、自ら考え行動できる積極的な職員の育成にどのように取り組んでいくのか。



優秀な市職員が活躍する市役所に!

### 市長答弁

議会と執行部は透明性の高い適切な関係が築かれることが望ましく、議員と職員が意見交換できる風通しの良い組織風土の構築に努めます。また、職員の意識と能力の向上を図り、職員の育成に努めてまいります。

## 人口減少社会と今後の上下水道事業の趨勢について

人口減少等に伴う料金収入の減少が進む中、支出抑制と経費の削減にどのように取り組んでいくか。また、人件費の抑制対策と、施設の統廃合を含めた今後の対策についていかに取り組んでいくのか。次に、都市部における洪水は、雨が河川からあふれる「洪水氾濫」と市街地に降った雨が河川等に排水できずに発生する「内水氾濫」があり、本市にも内水氾濫常習地域があり、下水道事業における浸水対策はどのように進んでいるか。また、料金の値上げも避けられないところだが、いつ頃の値上げを見込んでいるか、早期の公表と市民を巻き込んだ議論が必要ではないか。



桜木地区の内水氾濫

### 上下水道事業 管理者答弁

本市の上下水道事業は、高度経済成長期等に整備され、老朽化したインフラ資産を多数保有しており、その対応が課題で、維持管理コストの縮減に取り組んでいます。人件費抑制の対策については、経営基盤の強化に基づき、業務委託の拡大、組織体制の見直し等に取り組んできました。今後も効率的な組織のあり方を検討し、経営基盤の強化に努めます。下水道事業における浸水対策として、過去11年間の浸水被害を調査し、6地区を重点対策地区として位置付け、住民の皆様の理解を求めながら意見を反映した対策を実施します。料金改定については令和11年までは現行料金で事業の維持ができると考えており、改訂を行う場合は市民に対して丁寧な説明を行っていきます。